

# 66<sup>th</sup>

## Business Report

株式会社クレディセゾン 営業の中間ご報告

2015年4月1日～2015年9月30日(第66期)



1ポイント=ほぼ5円

永久不滅  
ポイント

永久不滅  
.com

SAISON  
CARD  
INTERNATIONAL





# 「Neo Finance Company in Asia」 アジアにおいて他にない新たな ファイナンスカンパニーを目指して

2015年12月

代表取締役社長

林野 宏

## 株主の皆様へ

第66期中間期(2015年4月1日～2015年9月30日)決算につきまして、ご報告申し上げます。

カードビジネスでは、「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」をはじめ、提携小売業と一体となった提携カードの会員募集や利用活性など、カード合併各社を含む連結ベースで顧客基盤と取扱高の拡大に努めました。

また、法人決済マーケットの取り込みとして、大企業を中心に発行している「UCコーポレートカードゴールド」の付帯保険サービスの補償内容を拡充するなど、当社法人向けカードを活用した経費精算業務の省力化サポートなどに注力いたしました。

決済領域の拡大としては、海外渡航者向けプリペイドカード「NEO MONEY」で新たに中国銀聯ブランドの発行も開始するなど、国際ブランドプリペイドカードの推進を強化し、ASEANでの展開も見据えた新たな収益源の確立に取り組みました。

一方、「金融×IT (Fintech)」の分野におけるベンチャー企業との連携強化を目的に、国内カード業界初のコーポレート・ベンチャーキャピタルである「(株)セゾン・ベンチャーズ」を設立したほか、リース残高・信用保証残高の積み上げ、フラット35や資産形成ローンの推進など、カードビジネスに依存しない収益力の多様化に挑戦してまいりました。

さらに、将来の収益基盤の柱として成長著しいアジア圏内における事業展開を加速するため、インドネシアで複合小売事業を展開する「PT. Modern Internasional Tbk.」とマルチファイナンス事業に向けた合併会社を設立いたしました。

これらの結果、当中間期末の当社カード会員数は2,527万人、資本提携カード会社を含めた当社グループ全体では3,521万人となっております。

当中間期における業績は、連結営業収益1,349億40百万円(前年同期比6.6%増)、連結経常利益342億35百万円(同28.7%増)、連結純利益230億27百万円(同24.3%増)となりました。

当社は、「Neo Finance Company in Asia」を経営ビジョンに、国内では、多様な戦略武器を組み合わせた複合法人営業による提携先企業の売上拡大への貢献とイノベーションによる顧客価値の創造を通じて、マーケットにおける競争優位性を確保するとともに、ASEANを中心としたエリアでは、現地有力企業とのコラボレーションによるリテール金融ビジネスへの本格的参入を推進していくことで、持続的成長を実現する戦略的先行投資を具体化しつつあります。

株主の皆様におかれましては、セゾンカードとUCカードのご利用とともに、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# Change for progress.

Targeting all kinds of corporations and individuals as customers, we will achieve growth while playing a leading role in our ever-changing society by leveraging the combination of our diverse strategic resources.



## Card Business

### 顧客基盤と取扱高の拡大に向けて

「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」や「三井ショッピングパークカード<セゾン>」など提携小売店舗と一体となった会員募集に取り組んだ結果、総会員数は2,527万人(前期末差30万人増)、稼働会員数は1,482万人(前期末差24万人増)になりました。カード取扱高拡大の取り組みとしては、ショッピングセンターやスーパーなど提携小売業を中心としたカード利用活性やリポリング払い・ボーナス一括払いの訴求強化に加え、ふるさと納税や固定資産税、自動車税など税金のカード払い促進などキャッシュレス化の推進により、ショッピング取扱高は2兆912億円(前年同期比5.1%増)、リポリング残高は3,188億円(前期末比8.1%増)と順調に推移いたしました。

### プリペイドカードによるキャッシュレス化推進

ドラッグストア業界大手の(株)ココカラファインとの提携・発行や、「au WALLET カード」(KDDI(株)、(株)ウェブマネー)、「ソフトバンクカード」(ソフトバンク・ペイメント・サービス(株))等の業務を受託している国際ブランドプリペイドカードの推進に加え、2015年6月には、海外渡航者向けプリペイドカード「NEO MONEY」の国内利用開放や中国銀聯ブランド追加など、商品機能充実とラインアップ拡大により、プリペイドカードの総発行枚数は2,250万枚を突破いたしました。さらに、11月より(株)ローソンとの業務受託提携により「おさいふPonta」の発行を開始しており、更なるキャッシュレス化を推進しております。

### 法人決済市場のキャッシュレス化推進

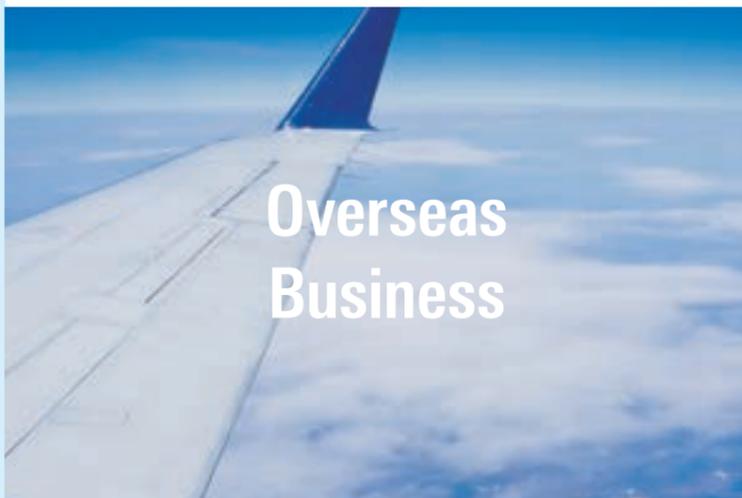
全社法人営業体制を強化し、(株)コンカーや(株)ミロク情報サービスなど法人向けソリューションツールを提供する企業と営業連携し、コーポレートカードや法人カード、「セゾンプラチナ・ビジネス・アメリカン・エクスプレス®・カード」など法人・個人事業主向けカードの発行を強化しております。企業や個人事業主の経費精算業務の省力化をサポートした結果、法人・コーポレートカードの発行は、前年同期比11%増加、取扱高は前年同期比13%増加しております。



## Internet Business

### ネットビジネス

ネットを活用した収益力の強化として、基盤となるネット会員が1,182万人(前期末比5.5%増)に増加するとともに、スマートフォン用アプリ「セゾンPortal」「UC Portal」が96万ダウンロードを突破するなど、ネットサービス全般の利用促進に努めております。また、2015年6月には、「金融×IT(Fintech)」の分野で次世代の金融・決済ソリューションの創造に挑戦する意欲的なベンチャー企業への投資および協業など一層の連携強化を目的に、国内カード業界初のコーポレート・ベンチャーキャピタルである「(株)セゾン・ベンチャーズ」を設立するなど取り組みを強化しております。



## Overseas Business

### 海外ビジネス

将来の成長基盤の柱として成長著しいASEANにおける海外事業展開を加速しております。ベトナムでは、有数のファイナンス会社を持つ「Ho Chi Minh Development Joint Stock Bank.」とHD SAISON Finance Company Ltd.を設立し、二輪車や家電などの個品割賦事業を開始しております。さらに、インドネシアにおいてセブン-イレブンを展開する「PT. Modern Internasional Tbk.」と、PT. Saison Modern Financeを設立し、インドネシアにおけるリテール分野のマルチファイナンス会社のNo.1を目指し、プリペイド事業、リース事業へ参入いたします。



## CSR

### 社会貢献活動

山中伸弥教授が所長を務める京都大学「iPS細胞研究所」の支援など、永久不滅ポイントやクレジットカード決済を通じた寄付活動をはじめ、赤城自然園運営による環境保全活動やスポーツ・文化活動のサポートを行い、積極的な社会貢献活動を展開しております。また、日系企業とベトナム人学生が“働くこと”や“生き方”について相互理解を深める「クwestキャリア」に参加するなど、国境を越えた教育事業活動によるアジアの経済発展に寄与しております。



## Gender Balanced Workforce

### ダイバーシティマネジメントの実現

女性リーダーとしての活躍に必要なスキル向上を目指して、ワークスタイルや文化・価値観を互いに学ぶ「女性交流会」の開催や、女性向けビジネススクール「日本女子経営大学院」へ社員を派遣し、異業種交流を促進するなど、女性のキャリア支援を行っております。また、朝型勤務の導入など働き方改革を促進し、ダイバーシティマネジメントを強化しております。



## Finance Business

### リース&レンタル

強みである審査ノウハウと与信スピードを最大限活かし、OA機器や通信機器、LED照明などを中心に「ファイナンスリース」「事業用割賦」「レンタル」を提供しております。既存販売店との共同キャンペーンを通じたサポート営業を強化し、密接な連携強化を図るとともに、新規販売店への営業強化を通じて、取扱商品の拡充やリース販路の拡大に取り組んだ結果、債権残高は2,801億円(前期末比0.7%増)となっております。

### 信用保証

地域金融機関と連携した個人向け証書貸付型フリーローンの保証業務を中心に、提携金融機関と営業・管理両面にわたり密接な連携を行い、商品勉強会の実施をはじめ、個人ローンの推進をサポートしております。また、事業資金も含む「資金使途の汎用性」「申し込み手続きの簡便性」「審査回答の迅速性」を兼ね備えたローン商品として支持され、提携金融機関388先、保証残高2,767億円(前期末比5.6%増)と順調に推移しております。

### ファイナンス

セゾンブランドが持つ信頼感に加え、クレジットカード事業で培った審査ノウハウ、迅速な対応、営業力を活かしたファイナンス事業を推進しております。「フラット35」は、スピーディーな審査や、ニーズに応じた柔軟な対応など提携先との営業強化により、住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高は3,151億円(前期末比11.0%増)となりました。また、「セゾンの資産形成ローン」はマーケットニーズに応じた商品性のカスタマイズやアパートメント・中古コースを本格展開することで、貸出残高881億円(前期末比30.1%増)と順調に推移しております。

## クレディセゾンは引き続きサッカー日本代表を応援していきます

当社は、世界を舞台に飛躍するサッカー日本代表のサポーターカンパニーとして、2001年からその活動を支援しております。日本航空(株)(JAL)との共同プロモーションや永久不滅ポイントの会員様限定アイテムの交換などを通じて、「SAMURAI BLUE(日本代表)」や「なでしこジャパン(日本女子代表)」をはじめとした各カテゴリーの日本代表チームをバックアップしております。また「ナショナルフラッグベアラー」「ウェルカムキッズ」といったキッズプログラムを実施し、未来のサッカー日本代表を目指す子供たちの夢を叶えるお手伝いをしております。



クレディセゾンは  
サッカー日本代表の  
サポーターカンパニーです。



©JFA/2018FIFAワールドカップロシアアジア2次予選兼AFCアジアカップUAE2019予選対カンボジア代表戦先発メンバー(2015.9.3)



©JFA/キリンチャレンジカップ2015 対イタリア女子代表戦先発メンバー(2015.5.28)

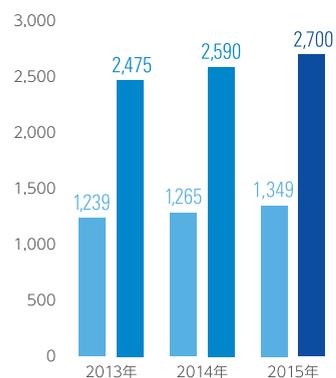


©J.LEAGUE PHOTOS

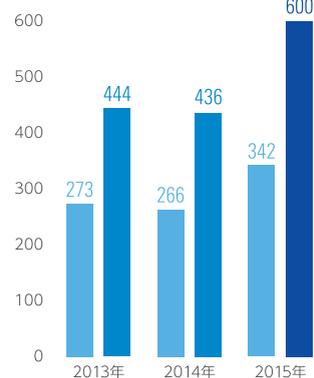
## Financial Data

### 経営成績

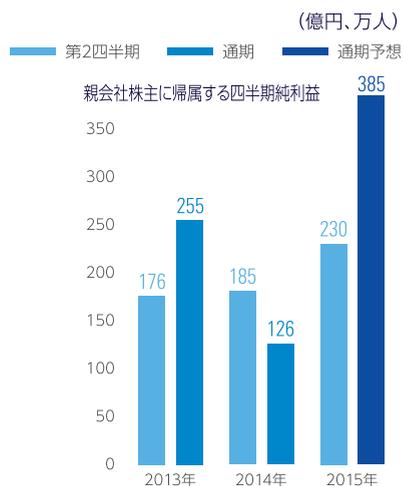
#### 営業収益



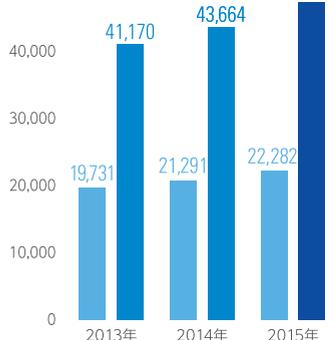
#### 経常利益



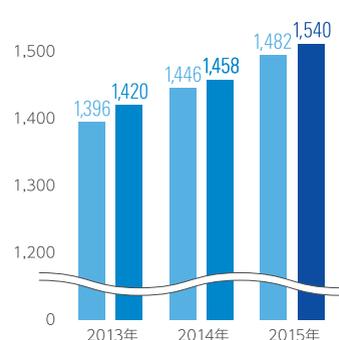
#### 親会社株主に帰属する四半期純利益



#### カード取扱高(単体)



#### カード稼働会員数(単体)



第66期中間期は、ノンバンクとしての総合的な事業の成長を目指すとともに、今後の持続的成長に向けた顧客基盤拡大やASEANでの先行投資、各分野でノウハウを有する成長企業とのビジネス創造を推進してまいりました。

営業収益については、クレジットサービス事業で、提携小売業を中心としたカード利用活性の推進等によりショッピング取扱高が2兆912億円(前年同期比5.1%増)、リボルビング残高が3,188億円(前期末比8.1%増)と順調に拡大したことに加え、信用保証残高が堅調に推移したことや「フラット35」「セゾンの資産形成ローン」が収益貢献

したファイナンス事業で増収となった結果、営業収益は1,349億円(前年同期比6.6%増)となりました。

営業費用では、カード取扱高拡大に伴い運動費用が増加するなどしましたが、持分法投資利益が増加したことなどにより、経常利益は342億円(前年同期比28.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、230億円(前年同期比24.3%増)となりました。

※2016年度後半には新システムへの移行が予定されており、これに伴う減価償却費が計上されることとなりますが、今後も業績目標が達成できるように取り組んでまいります。

# Corporate Data

## 株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株  
発行済株式の総数 185,444,772株  
株主数 11,810名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)みずほ銀行	24,768	13.46
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	20,394	11.08
JP MORGAN CHASE BANK 385632	9,881	5.37
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	9,862	5.36
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	6,859	3.73
立花証券(株)	4,989	2.71
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	4,888	2.66
ROYAL BANK OF CANADA TRUST COMPANY (CAYMAN) LIMITED	2,733	1.49
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	2,698	1.47
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	2,697	1.47

※ 持株比率は、自己名義株式(1,418,638株)を控除し算出しております。

## 会社概要

(2015年9月30日現在)

商号 株式会社クレディセゾン Credit Saison Co., Ltd.  
設立 1951年5月1日  
資本金 759億2,936万円  
従業員数 2,220名 他に嘱託、パートおよびアルバイトの期中平均雇用人員は1,516名(1日7.75時間換算)  
本社 〒170-6073 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60・52F  
主要な事業内容 ①クレジットサービス事業(クレジットカード事業およびサービス(債権回収)事業等)  
②リース事業(リース事業)  
③ファイナンス事業(信用保証事業およびファイナンス関連事業)  
④不動産関連事業(不動産事業および不動産賃貸事業等)  
⑤エンタテインメント事業(アミューズメント事業等)

### 役員

代表取締役社長	林野 宏	取締役	松田 昭博	取締役	米澤 禮子(社外)
代表取締役副社長	前川 輝之	取締役	青山 照久	常勤監査役	村上 喜堂(社外)
代表取締役専務	高橋 直樹	取締役	山本 善久	常勤監査役	櫻井 勝(社外)
常務取締役	山本 寛	取締役	岡本 龍成	監査役	山本 恵朗
常務取締役	山下 昌宏	取締役	水野 克己	監査役	笠原 智恵(社外)
取締役	平瀬 和宏	取締役	武田 雅子		
取締役	清水 定	取締役	上野 恭久(社外)		

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。  
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)  
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載) <http://corporate.saisoncard.co.jp>  
上場証券取引所 東京証券取引所  
証券コード 8253

### 【株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### 【特別口座の口座管理機関に関するご案内】

特別口座の口座管理機関がみずほ信託銀行の株主様につきましては、2015年12月4日をもって、特別口座の口座管理機関を三井住友信託銀行に変更いたします。

